

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	131	1年	後期	臨床検査学科	必修	コミュニケーション論 Communication Studies	30	1
担当教員								
仲渡 江美								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="radio"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療場面における他者とのコミュニケーションを理解するために、言語的・非言語的コミュニケーションの基礎知識や役割について学ぶ。さらに複数のメディカルスタッフと議論を行う上で必要となる能力を、グループワークやディベートを実際に体験しながら修得する。								
到達目標（授業目標）								
人間関係の基礎となる言語的・非言語的コミュニケーションの特徴や医療コミュニケーションの基礎知識について説明できる。また、さまざまな手段・方法を用いて他者とのコミュニケーションを体験的に学ぶことができる。自己主張と他者理解を深め、効果的なコミュニケーションについての理解を深めることができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	コミュニケーションとは：言語的・非言語的コミュニケーション、コミュニケーション能力について講義する。							
2回	コミュニケーションと人間関係（1）：顔からのコミュニケーションについて講義する。							
3回	コミュニケーションと人間関係（2）：表情からのコミュニケーションについて講義する。							
4回	コミュニケーションと人間関係（3）：感情やパーソナルスペースについて講義する。							

